

ヒューマン  
ライブラリー  
Human Library

@つるまいワイワイライブ

日時 6月14日(土) 11:00 ~ 15:00

会場 鶴舞公園内 鶴々亭

ヒューマンライブラリーとは

生きづらさ(差別・偏見)を経験した人々が「本」となり、一般の参加者「読者」との対話を通して、互いの差異の理解や偏見の低減(偏見を溶かす)を目指す取り組みです。

タイムスケジュール

1冊ごとに 説明10分 「本」の方のお話10分 対話20分 アンケート5分  
参加人数は1冊の本に対し4名ずつ ※事前予約優先

11:00 ~ 1冊目

1

『闇が深いほど光は眩しい ~話せるようになったこと編~』 キエさん  
人は集団生活をして、言語のコミュニケーションを基盤に生きています。自閉症スペクトラム症は、その中で、どれだけ生きづらいか、当事者でない方には想像できるでしょうか。私が診断を受けるまでの人生と、福祉施設で出会ったスタッフの方達と歩んできた軌跡をご紹介します。

12:00 ~ 2冊目

2

『意外なる希望の人生』 山崎 裕さん  
10年間もの間、病名もわからず一人で苦しんでいた。入院し、仲間と出会い、少しずつ症状は良くなり、僕のリハビリは始まった。デイケアで6年間寸劇を行い、引退した後、イタリアの劇団の日本人キャストに選ばれ、舞台に立つことになった。意外なる僕の希望の人生をお話します。

13:00 ~ 3冊目

3

『キセキ ~私の生きたあかし~』 おやびんさん  
辛い少年時代を過ごし、就職後は同僚の悪口という幻聴に悩まされました。ひとりで怯えもがき苦しみながら、転職を繰り返すこと10年。その後、薬の副作用との闘いを経て、現在はたくさんの方々に囲まれ、「人生は捨てたものではない」という力強い言葉を胸に、リハビリの道を歩んでいます。

14:00 ~ 4冊目

4

『好きなアナウンサーとこれから行きたい場所』 キャプテンさん  
こどもの頃に、いじめられたり、不登校になった経験があります。大人になって精神発達症と診断されたり、てんかんで倒れることもありました。今はイラストレーターとして活動したり、イベントのMCなどもしています。好きなアナウンサーも応援しています。

参加人数 1冊の本に対し4名(合計16名) 事前予約優先

予約方法 申し込みフォーム <https://forms.gle/wYecrKQJznuqH6BNA>

お問い合わせ rc.uketsuke@gmail.com 主催 ボランティア団体夢叶



本企画運営は「精神障害当事者の語りを生かした対話型福祉教育プログラムモデルの開発(JP23K01865)」の一部助成を受けた